



課稅年度  
 2 0  
 0 1 ~ 1 2  
 月 年 月 年  
 財務諸表  帳簿

注意事項: ● 記入前に記入方法を讀むこと ● ブロック体および黒色で入力すること ● 該当する□にx印を記入

NPWP :   
 納稅者名 :

A: 国内における自營業または個人事業主の当期純利益  
(帳簿を提出する納稅者用)

財務諸表 :  監査済 監査意見付  未監査  
 公認會計士名 :   
 公認會計士事務所納稅者番号 :   
 公認會計士事務所名称 :   
 公認會計士事務所納稅者番号 :   
 稅理士名 :   
 稅理士納稅者番号 :   
 稅理士事務所名称 :   
 稅理士事務所納稅者番号 :

		IDR
1.	<b>商業上の財務諸表に基づく自營業または個人事業主の収入</b>	
a.	売上高	1a
b.	売上原価	1b
c.	營業利益/損益 (1a - 1b)	1c
d.	營業費用	1d
e.	当期純利益 (1c - 1d)	1e
2.	<b>業種</b>	
a.	納稅者個人の為、またはその責任者となった者が負担したまたは支出した費用	2a
b.	納稅者の健康保險、交通事故保險、生命保險、養老保險、奨學保健の保健料金	2b
c.	仕事に関連して提供されたファシリティまたは現物支給	2c
d.	仕事上の特殊な關係へ支払われた合理的な額を超えた支出の總額	2d
e.	贈与された資産、支援、寄付	2e
f.	所得稅	2f
g.	所有者、責任者へ支払われた給与	2g
h.	罰則金等	2h
i.	稅務上と會計上の繰延資産償却差異	2i
j.	最終分離課稅で處理した所得と稅務対象でない所得の為に取得、請求、維持を行なった費用	2j
k.	その他の稅務修正	2k
l.	合計 (2a s.d. 2k)	2l
3.	<b>稅務調整 (減産項目) :</b>	
a.	最終分離課稅で處理した所得と稅務対象ではない所得であるが売上高に含むもの	3a
b.	稅務上と會計上の繰延資産償却差異	3b
c.	その他の稅務修正 (減算)	3c
d.	合計 (3a s.d. 3c)	3d
4.	<b>Aの合計 (1e + 2l - 3d)</b>	4

添付-I  
年次個人所得税確定申告書

- 国内における自営業または個人事業主の当期純利益を帳簿と共に提出
- 国内の仕事から得た純利益
- 国外からの収入

2	0					
0	1		s.d	1	2	
	月		年		月	年
<input type="checkbox"/>	財務諸表	<input type="checkbox"/>	帳簿			

注意事項: ● 記入前に記入方法を読むこと ● ブロック体および黒色で入力すること ● 該当する□に×印を記入

納税者番号	:	<input type="text"/>
納税者氏名	:	<input type="text"/>

B: 国内における自営業または個人事業主の当期純利益  
(帳簿を提出する納税者用)

NO.	業種	売上高 (IDR)	率 (%)	当期純利益 (IDR)
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	商業			
2	製造業			
3	サービス			
4	個人事業主			
5	その他の業種			
Bの合計			Bの合計	

B-5の総合計を申請書1770-1へ入力

C: 国内の就労から得た純利益  
(最終分離課税対象は含まない)

NO.	雇用主の氏名および納税者番号	総収入 (IDR)	総収入からの支出/費用 (IDR)	純利益 (IDR)
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
Cの合計			Cの合計	

Cの(5)を申請書1770-2へ入力

D: 国外からの収入  
(最終分離課税対象は含まない)

NO.	収入の種類	所得 (ルピア)
(1)	(2)	(3)
1	利子	
2	ロイヤリティ	
3	賃貸	
4	受賞/贈与	
5	資産の売却や譲渡からの収益	
6	その他の収入	
Dの合計		Dの合計

Dの合計を1770-3へ入力

この申請用紙で十分でない場合、当該申請内容に充当する形で自作で提出も可

添付II

1

~

1

ページ

添付資料-II  
年次個人所得税確定申告書

他から源泉徴収または徴収された所得税  
海外で徴収または支払われた所得税 政府が負担した所得税

課税年度 2 0  
0 1 ~ 1 2  
月 年 月 年  
財務諸表 帳簿

注意事項: ● 記入前に記入方法を読むこと ● ブロック枠および黒色で入力すること ● 該当する□に×印を記入

納税者番号 :  
納税者指名 :

A: 他から源泉徴収または徴収された所得税  
海外で徴収または支払われた所得税、政府が負担した所得税

NO	源泉または徴収した者	納税者番号	源泉証明書、徴収証明書		税の種類: PPh PASAL 21/ 22/23/24/26/ DTP 政府負担税 (*)	源泉または徴収税額の合計 (IDR)
			NO	日付		
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15 続き						
Aの合計					合計	0

A-(7)の合計を1770-15へ入力

- \*) - DTP = 政府負担税  
 - (6)の欄は、税の種類を選び右のように記入する。(例: 所得税法第21条, 第22条, 第23条, 第24条, 第26条, 政府負担税)  
 - 所得税法第24条税額控除を行う場合は、記入した合計額はi: 添付資料と合致するものとする  
 (記入手中資料 納税申告書表紙の4番、添付IIのAを参照)

この申請用紙で十分でない場合、当該申請内容に充当する形で自作での提出も可

添付II: 1 ~ 1 ページ

- 最終分離課税または最終分離課税に該当する所得
- 課税対象外所得
- 夫と妻で別々に課税された所得

2	0		
0	1		
		~	
	1	2	
	月	年	月 年
	財務諸表		帳簿

PERHATIAN : ● 記入前に記入方法を読むこと ● ブロック体および黒色で入力すること ● 該当する□に×印を記入

納税者番号	:	
納税者氏名	:	

## A : 最終分離課税または最終分離課税に該当する所得

NO	所得の種類	総収入/ 課税対象所得	未払税 (IDR)
(1)	(2)	(3)	(4)
1.	預金金利、貯蓄、中銀短期国債金利、割引		
2.	長期国債金利		
3.	株式売却益		
4.	宝くじ賞金		
5.	退職金の一時金		
6.	国家予算、地方予算からの交付金（謝礼金等）		
7.	土地、建物の権利譲渡		
8.	所有権移転、運営権移転のあった建物		
9.	土地、建物の賃貸		
10.	建設事業サービス		
11.	燃料の卸売業/ディーラー/代理店業からの収入		
12.	協同組合 (Koperasi) の組合員へ支払われた配当金		
13.	デリバティブ取引		
14.	配 当		
15.	一つの事業主から取得した妻の所得		
16.	最終分離課税対象の所得		
17.	合計 (1~16)		

## B : 課税対象外所得

NO	所得の種類、収入源	総収入 (IDR)
(1)	(2)	(3)
1.	補助 / 寄付 / 支援金	
2.	贈 与	
3.	保有株式からではない合資会社の構成員からの利益	
4.	健康保険金、生命保険金、養老保険金	
5.	奨学金	
6.	税金対象ではないその他の収入	
Bの合計		合計

## C : 夫と妻で別々に課税された所得

夫と妻で別々に課税された純利益	(IDR)

- 期末資産残高
- 期末負債残高
- 家族構成

2	0	0	7
0	1	月	~
1	2	月	年
		BL	
<input type="checkbox"/>	財務諸表	<input type="checkbox"/>	帳簿

注意事項 ● 記入前に記入方法を読むこと ● ブロック体および黒色で入力すること ● 該当する□に×印を記入

納税者番号	:	<input type="text"/>
納税者氏名	:	<input type="text"/>

## A: 期末資産残高

NO.	資産コード	資産名称	資産取得年度	購入金額 (IDR)	詳細
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10 続く					
Aの合計			合計		

## B: 期末負債残高

NO.	債務コード	債権者の名称	債権者の住所	借入年度	合計 (IDR)
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10 続く					
Bの合計				合計	

## BAGIAN C: 家族構成

NO.	家族氏名	住民登録番号	続柄	職業
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1				
2				
3				
4				
5 続く				

この申請用紙で十分でない場合、当該申請内容に充当する形で自作での提出も可

添付書類IV

1 ~ 1 ページ

財産分離契約を行った夫婦 (PH)または個別で納税の権利と義務を執行した妻 (MT)の課税所得計算表

No.	内容	夫の純利益	妻の純利益
(1)	(2)	(3)	(4)
A	純利益		
1	国内の就労または個人事業主による純利益 [1770-A-1から入力]		
2	国内の就労から得た純利益 [1770-A-2または1770S-A-1から入力]		
3	国内のその他の所得 [1770-A-3または1770S-A-2から入力]		
4	海外所得 [1770-A-4または1770S-A-3から入力]		
5	宗教的義務における喜捨 / 寄付 [1770-A-6または1770S-A-5から入力]		
6	合計(1 + 2 + 3 + 4 - 5)		
7	繰延欠損金 [財務諸表を作成している個人納税者だけ 1770-A-8から入力]		
8	総純利益 (6 - 7)		

No	内容	値
(1)	(2)	(3)
B	夫と妻の純利益の合計 [ A.8.(3) + A.8.(4) ]	
C	非課税所得対象 扶養控除	[ K / I / ..... ]
D	課税対象所得 [ B - C ]	
E	課税所得額 (合算)	
1	5% x .....	
2	15% x .....	
3	25% x .....	
4	30% x .....	
	課税所得額合計	
F	源泉所得税 夫負担分 [ (A.8.(3) / B) x E ] [この数値は夫の年次個人確定申告書 1770-C - 12 または1770S- C - 9へ入力]	
G	源泉所得税 妻負担分 [ (A.8.(4) / B) x E ] [この数値は妻の年次個人確定申告書 1770-C - 12 または1770S- C - 9へ入力]	

..... 20....

夫

氏名 : .....

納税者番号 : .....

署名

妻

氏名 : .....

納税者番号 : .....

署名